

シンキングツール勉強会報告

2014.7.25

関西大学総合情報学部 教授 黒上晴夫先生を招いて学んだこと

1. 今後の学習指導要領のあり方

☆ 今までどのような内容を教えるかに重点が置かれていた。



☆ これからは、どのような資質・能力を身につけさせるかにも重点が置かれる。

2. 資質・能力の明確化

☆ 問題解決、論理的思考、コミュニケーション、意欲、批判的思考など今まで、見えにくく、評価しづらかったことを見えるようにしていかなければならない。



☆ シンキングツールが今後それに応えていくことになる。

3. シンキングツールと思考スキル（例）

シンキングツール	思考スキル	シンキングツール	思考スキル
ベン図	比較する	コンセプトマップ	関連づける
Xチャート	分類する	なぜなにシート	構造化する
Yチャート	分類する	ピラミッドチャート	構造化する
KJ法	分類する	PMI分析表	評価する
くま手図	多面的にみる	イメージマップ	問題解決の取り組みに
お魚ボーン図	多面的にみる	P&Sシート	問題解決の取り組みに
ボーン図	多面的にみる		

「思考ツール実践編」 98ページを参照しました。

「思考ツールの授業」 118ページを参照しました。

4. シンキングツールとワークシートの違い

シンキングツール	ワークシート
途中の考えを表す	結果までの流れを導く
ルールを元に考える	考えた結果を書く
正解はない	正解がある
同じツールを何度も使う	ねらいに沿ったものを使う

5. シンキングツールの効果

- ・ 話し合いがスムーズ・活性化
- ・ 人の頭のリソースを借りる
- ・ 考えの流れが可視化できる（子ども／教師にとって）
- ・ 内面化（要らなくなる）
- ・ 記録をとることで違いが見える



講演会では、バタフライチャートの実習も行いました。

書物では知っており、研究を進めていたシンキングツール。実際に話を聞いてみて、やはりこのシンキングツールのよさを改めて実感した講演会でした。